

発行/モザイク会議 議長 森敬美

モザイク会議事務局：〒185-0012 東京都国分寺市本町 4-12-4 司アートシティ 104

モザイク会議ホームページ：<http://www.maa-jp.com/> Email: maaj@maa-jp.com

編集/作成：モザイク会議運営委員会

モザイク展 2019

日程が確定しました。

2019年10月2日(火)～7日(日)

今回は一週間の会期です。

於・横浜市民ギャラリーあざみ野

海外作家作品 10 点が展覧会に出品されます。

招待出品ですが、賞の対象になります。

顔ぶれは次号のモザイク通信でお知らせします。

この企画は多治見のモザイクタイルミュージアムの協力で実現します。

海外作品 10 点と受賞作品を中心に 10 数点はあざみ野の後、北青山のオリエアートギャラリーと多治見のモザイクタイルミュージアムで展示されます。

あざみ野の会場は 1 階と 2 階の会場を借りました。

2 階のスペースの使い方については検討中です。

審査員は引き続き村田真氏をお願いします。

もう一人の審査員は未定です。

訃報・名古屋モザイク会長の加藤守孝氏が亡くなりました。

モザイク会議の活動を応援してくださいました。ご冥福を祈ります。

AIMC のシンポジウムについて

喜井豊治

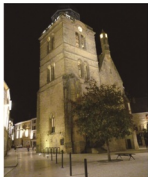
イタリア・ラヴェンナに本部を置く国際モザイク作家協会（AIMC）は2年毎に世界各地でシンポジウムを開催する。

今年は10月にフランスで行われた。

AIMCは1980年に設立され、その設立総会には日本から矢橋六郎氏が参加した。私はたまたま留学のためにイタリアにいたので、経緯はすっかり忘れたが、通訳として同行した。私自身はその翌年入会した。

シンポジウムが1994年には鎌倉で開かれ、モザイク会議が設立されるきっかけになったことは、若い人たちはご存知ないかもしれない。

今年のテーマは「現代のモザイク」というものだった。



AIMC 会員の展覧会が開かれた塔サン・エマヌ



期間中の創展 ジェラルド・ブランのギャラリートークの様子

フランス、モザイクの旅

記・今野栄子

国際現代モザイク作家協会 (AIMC・本拠地・イタリア・ラヴェンナ市)

シンポジウム 2018「フランス大会」

会期：10/15(日)～10/19(金)

開催地：パレ・ル・モニアル (PARAY-LE-MONIAL)

テーマ：「現代のモザイクの革新」

AIMC 会員、喜井さんを中心にモザイク会議会員、戸祭さん、妙川さん、高見さん、今野、そのほかイナックスでタイルモザイクの指導をしていた美術教師の松本さんと参加しました。

パレ・ル・モニアル (PARAY-LE-MONIAL) は、フランス南東部の都市リヨンから北へ、電車で2時間弱、ブルゴーニュ地方のキリストの聖心の巡礼地として有名な古い小さな街です。

この街にフランスのモザイク協会事務局とそこが運営

するモザイク教室があります。

モザイクシンポジウムに合わせ商店のウィンドウにもモザイクが飾られ、小さな教会や納屋などの美しい空間に展示されていました。AIMC モザイク展は、古い教会付属の塔のギャラリーで開催され、厚重な壁面にモザイクが似合っていました。

シンポジウムでは参加者の作品の発表が行われ、その後シンポジウムに合わせて開催された展覧会巡りをしました。沢山の世界の作家の作品を拝見しました。



パーティー会場でのモザイク遊び



AIMC 会員展会場でスナップ写真



参加によるパーティー



AIMC 会員展より
ルイジ・ラ・フェルラ の作品



AIMC 会員展より
バネラ・アービング の作品



リヨン市内での個展
クレマン・ミッテラン の作品

リヨン近郊には、この地が古代ローマに支配されていた時代の遺跡が多数あり、2つのモザイク博物館を訪れました。

内陸のリヨンにこれ程の古代ローマ遺跡があるとは知らず保存状態の良いモザイクを堪能しました。

シンポジウム終了後、妙川さん、戸祭さんが出品しているシャトル国際モザイク展を見に、古都シャトルへ。帰国後、妙川さんが3席受賞という嬉しい知らせがありました。

シャトルには素朴派芸術として歴史的建造物に指定されている「ピカシェットの家」があります。墓守のイシドールが墓で拾った陶器の食器やタイル、地元の砂利石など様々な材料をコツコツと家の中や家具、外壁、庭に張り、30年かけてモザイクに囲まれた楽しい空間を作り出していました。

シンポジウム参加者は38か国170名余り、モザイク展をはじめ、カクテルパーティやディナー、見学バスツアーなどシンポジウム主催者やフランスモザイク協会 (M comme Mosaique) の方々のいき届いたおもてなしとご尽力に感謝致します。引率してくださった喜井さんもありありがとうございました。



リヨン・ガロ＝ロマン博物館



リヨン・ガロ＝ロマン博物館



ピカシェットの家



ピカシェットの家内部